

平成30年度

Kakomon-Shōkai 2018

全国通訳案内士試験

二次口述過去問詳解

(上)

英語

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



法改正後初の試験につき、出題再現と解答解説、傾向対策はもとより、会場の運営状況まで、貴重な情報を満載！

過去問研究なくして合格なし 全受験者必携！

「楽しい学習による自己実現」を応援する

 **PEP英語学校**
We are full of PEP!

平成30年度

Kakomon-Shōkai 2018

全
国
通
訳
案
内
士
試
験
二
次
口
述
過
去
問
詳
解
(上) **英語**

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



まえがき

すでにご承知の通り、全国通訳案内士試験（平成 29 年度までは「通訳案内士試験」、正式名称の変遷に拘わらず通称「通訳ガイド試験」）の二次口述は、平成 25 年度に大きな形式上の変更があった。具体的には、従前の「ランダムな質疑応答」から「通訳とプレゼンテーション」という一定の課題が設定されたものになった。当該試験が、国家資格を付与する試験として、客観性をより担保しやすい形式に改良されたことは、積極的に評価できる。

そしてさらに平成 30 年度には、通訳案内士法の改正に伴う新ガイドラインに基づき、二次口述の形式にもマイナーチェンジが施された。その内容の詳細については本文に譲るが、大まかにいうと、従前の「逐次通訳とプレゼンテーション」という平成 25 年度に定められた 2 つの課題は維持しつつ、これに「全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」（略称「実務質疑」）という新課題が追加された。これは、当該改正によって一次筆記試験に「通訳案内の実務」という新科目が加わったことと平行に考えることができる。つまり、筆記と口述の両試験において「実務能力」が問われるようになったのである。

さて、ではこの度、実務能力の判定を追加して合格の要件を重くしたのは、どのような趣旨によるものであろうか。この答を得るためには、まず今回の通訳案内士法改正の内容を把握することが必要である。ここでは、従前認められてきた当該資格保持者による業務独占の廃止等の規制緩和により、ガイド業務へ新規参入するための法的要件のハードルを下げている。その一方で、資格保持者については、当該資格試験の科目・課題の追加に加え、実務研修受講を義務付ける等、逆にハードルを上げ、その実質的能力の担保を強く求めている。

これは、東京五輪等を控えての訪日外国人観光客急増に対応するため、法的要件を撤廃してガイドの基礎数を容易に確保できるようにすることを志向する一方で、「全国通訳案内士」という名称を独占できる資格保持者については、非資格保持者よりも明らかに質の高いサービスを提供でき

ページ中略

第1章 出題概観	1
面接における出題手順	3
出題の流れ.....	4
各課題の条件.....	5
全出題の再現（時間帯1～6）	6
時間帯1（面接時間 10:00-11:00）.....	8
問題セット1（1-1 外国語訳が「平等院鳳凰堂」の組）.....	8
問題セット2（1-2 外国語訳が「鹿苑寺金閣」の組）.....	10
時間帯2（面接時間 11:00-12:00）.....	12
問題セット1（2-1 外国語訳が「無形文化遺産和食」の組）.....	12
問題セット2（2-2 外国語訳が「和食の伝統と歴史」の組）.....	14
時間帯3（面接時間 13:00-14:00）.....	16
問題セット1（3-1 外国語訳が「居酒屋」の組）.....	16
問題セット2（3-2 外国語訳が「ラーメン」の組）.....	18
時間帯4（面接時間 14:00-15:00）.....	20
問題セット1（4-1 外国語訳が「公衆浴場と刺青」の組）.....	20
問題セット2（4-2 外国語訳が「旅館」の組）.....	22
時間帯5（面接時間 15:30-16:30）.....	24
問題セット1（5-1 外国語訳が「火山と温泉」の組）.....	24
問題セット2（5-2 外国語訳が「奈良」の組）.....	26
時間帯6（面接時間 16:30-17:30）.....	28
問題セット1（6-1 外国語訳が「浅草」の組）.....	28
問題セット2（6-2 外国語訳が「京都の世界遺産」の組）.....	30
出題傾向の分析	32
全体.....	32
試験形式について.....	32
出題分野について.....	33
プレゼンテーション問題.....	33
総論.....	33
「非観光アトラクション・解説型」の出題増加傾向.....	34
過去問からの再出題・関連分野からの出題.....	35

典型分野からの出題.....	35
鳴りを潜めた典型分野	37
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	38
総論.....	38
問題文の出典について	38
問題文の長文化傾向について	38
出題分野.....	39
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	40
総論.....	40
出題内容.....	40
第2章 解答・解説.....	43
時間帯1（面接時間 10:00-11:00）	45
問題セット1（1-1 外国語訳が「平等院鳳凰堂」の組）	45
プレゼンテーション問題.....	45
テーマ	45
解答・解説	45
① 正倉院	45
解答の指針.....	45
プレゼンテーション例	45
英語表現	46
プレゼンテーション例の和訳	47
質疑応答で出された質問	47
② 集団登下校	48
解答の指針.....	48
プレゼンテーション例	48
英語表現	49
プレゼンテーション例の和訳	49
質疑応答で出された質問	50
③ 働き方改革	50
解答の指針.....	50
プレゼンテーション例	51

英語表現	51
プレゼンテーション例の和訳	52
質疑応答で出された質問	53
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	54
問題「平等院鳳凰堂」	54
解答例	54
英語表現	54
関連知識と通訳のコツ	54
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	56
問題「生憎お目当てが工事中」	56
解答例	56
解答例の和訳	56
解説	57
問題セット2（1-2 外国語訳が「鹿苑寺金閣」の組）	58
プレゼンテーション問題	58
テーマ	58
解答・解説	58
① 鎌倉	58
解答の指針	58
プレゼンテーション例	58
英語表現	59
プレゼンテーション例の和訳	59
質疑応答で出された質問	60
② 無礼講	61
解答の指針	61
プレゼンテーション例	61
英語表現	62
プレゼンテーション例の和訳	62
③ 渋谷スクランブル交差点	63
解答の指針	63
プレゼンテーション例	64
英語表現	64

プレゼンテーション例の和訳	65
質疑応答で出された質問	65
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	66
問題「鹿苑寺金閣」	66
解答例	66
英語表現.....	66
関連知識と通訳のコツ	67
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	68
問題「生憎お目当てが工事中」	68
解答例	68
解答例の和訳.....	69
解説.....	69
時間帯 2（面接時間 11:00-12:00）	70
問題セット 1（2-1 外国語訳が「無形文化遺産和食」の組）	70
プレゼンテーション問題.....	70
テーマ	70
解答・解説	70
① 根回し	70
解答の指針.....	70
プレゼンテーション例.....	70
英語表現	71
プレゼンテーション例の和訳	72
質疑応答で出された質問	73
② 除夜の鐘.....	73
解答の指針.....	73
プレゼンテーション例	73
英語表現	74
プレゼンテーション例の和訳	75
質疑応答で出された質問	76
③ 太陽光発電.....	76
解答の指針.....	76
プレゼンテーション例	77

英語表現	77
プレゼンテーション例の和訳	79
質疑応答で出された質問	79
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	80
問題「無形文化遺産和食」	80
解答例	80
英語表現	80
関連知識と通訳のコツ	80
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	81
問題「近くにない店」	81
解答例	81
解答例の和訳	81
解説	81
問題セット2（2-2 外国語訳が「和食の伝統と歴史」の組）	82
プレゼンテーション問題	82
テーマ	82
解答・解説	82
① 日光東照宮	82
解答の指針	82
プレゼンテーション例	82
英語表現	83
プレゼンテーション例の和訳	84
質疑応答で出された質問	84
② 割り勘	85
解答の指針	85
プレゼンテーション例	85
英語表現	86
プレゼンテーション例の和訳	87
③ 灯籠流し	87
解答の指針	87
プレゼンテーション例	88
英語表現	88

プレゼンテーション例の和訳	89
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	90
問題「和食の伝統と歴史」	90
解答例	90
英語表現	90
関連知識と通訳のコツ	90
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	91
問題「近くにない店」	91
解答例	91
解答例の和訳	92
解説	92
時間帯 3（面接時間 13:00-14:00）	93
問題セット 1（3-1 外国語訳が「居酒屋」の組）	93
プレゼンテーション問題	93
テーマ	93
解答・解説	93
① リボ払い	93
解答の指針	93
プレゼンテーション例	93
英語表現	94
プレゼンテーション例の和訳	95
質疑応答で出された質問	95
② 流鏝馬	96
解答の指針	96
プレゼンテーション例	96
英語表現	96
プレゼンテーション例の和訳	97
③ 猫カフェ	98
解答の指針	98
プレゼンテーション例	98
英語表現	99
プレゼンテーション例の和訳	100

質疑応答で出された質問	100
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	102
問題「居酒屋」	102
解答例	102
英語表現	102
関連知識と通訳のコツ	102
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ..	103
問題「近くにない店」	103
解答例	103
解答例の和訳	103
解説	103
問題セット2（3-2 外国語訳が「ラーメン」の組）	105
プレゼンテーション問題	105
テーマ	105
解答・解説	105
① 盆踊り	105
解答の指針	105
プレゼンテーション例	105
英語表現	106
プレゼンテーション例の和訳	107
質疑応答で出された質問	107
② 路上喫煙	109
解答の指針	109
プレゼンテーション例	109
英語表現	110
プレゼンテーション例の和訳	110
③ 元号	111
解答の指針	111
プレゼンテーション例	111
英語表現	112
プレゼンテーション例の和訳	113
質疑応答で出された質問	113

通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	114
問題「ラーメン」	114
解答例	114
英語表現	114
関連知識と通訳のコツ	114
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	115
問題「ハラル食」	115
解答例	115
解答例の和訳	115
解説	115
第3章 「予定内容について」掲載のサンプル問題	117
文書「予定内容について」の全文面	119
問題と解答例	120
第4章 各課題内の時間管理	123
①プレゼンテーションの準備時間（30秒）	125
②プレゼンテーションの時間（2分）	125
③外国語訳解答時間（1分）	126
④実務質疑の準備時間（30秒）	127
第5章 試験会場関連情報	129
本試験の運営状況	131
建物内での移動について	131
本試験当日のタイムテーブル	132
問題漏洩防止のための行動制限・他について	135
受付	135
大控室	135
小控室	136
面接室前	136
面接室	136
挨拶・本人確認	136

課題	137
試験終了	137
一時待機場所	138
試験終了者待機室	138
会場の雰囲気・付近の様子	138
会場到着まで	138
受付	139
大控室	140
受験するにあたっての注意	140
持ち物	140
受付チェックインをするタイミング等	141
待機時間の過ごし方等	141
面接室内	142
第6章 試験対策	143
お勧めの勉強法と教材	145
総論	145
インプット	145
①過去問の把握	145
②単語や日本事象に関する知識など	146
③各課題の理論（全体）	147
アウトプット	147
各課題の理論（個別）	147
プレゼンテーション	147
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	148
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	148
各課題の演習	149
プレゼンテーション	149
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	156
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	159
過去問出題一覧表	160

教材の入手先.....	165
第7章 試験改正の経緯.....	169
平成 25 (2013) 年度改正.....	171
「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知	172
平成 30 (2018) 年度改正.....	172
「口述試験の予定内容について」による告知.....	174
平成 31 (2019) 年度ガイドライン改正.....	174

第1章

出題概観

面接における出題手順

全出題の再現（時間帯1～6）

出題傾向の分析



本章においては、本年度の二次口述における全出題を概観する。各課題の解答例及び解説については、第2章「解答・解説」をご覧ください。

面接における出題手順

問われる課題は、①プレゼンテーション問題（即興プレゼン&質疑）、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（便宜的に「外国語訳」または「逐次通訳」「通訳」）、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（便宜的に「実務トラブル質疑」「実務トラブル」「実務質疑」等）、の3つであり、この順番で出題された。各課題の冒頭、試験方法に関する簡単なインストラクションが日本語で行われる。

なお、入室し挨拶を交わした後、最初に問われるのが、名前、誕生日、現住所の3つである。英語で行われることと日本語で行われることがあり、これらは採点対象外であると考えられる。面接時間は、1人につき合計で約11分と設定されている。

次頁の「出題の流れ」を一読された後、以下の YouTube 動画を視聴いただければ、試験の流れの把握は完璧となる。この動画は、平成30年度の改正で加わった新課題「実務質疑」までを含んだ、新試験の様子を動画により完全に再現したものである。一目で試験の流れが把握でき、受験者のイメージづくりに最適といえる。



視聴方法

YouTube のページより、アカウント名「PEPEnglishSchool」または「通訳ガイド」等のワードで検索し、上のサムネイルを選択する。

出題の流れ

課題	順	行為	内容・趣旨	言語	所要時間
	①	入室、挨拶	リラックスと本人確認 J試験官が日本語または英語で、受験者の名前・誕生日・住所を訊く	日本語 英語	30秒
プレゼンテーション&質疑	②	プレゼン 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	③	プレゼン準備	受験者が3択のお題から1つを選び、プレゼンを準備	無言	30秒
	④	プレゼン	受験者がプレゼン	英語	2分
	⑤	プレゼン質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
外国語訳	⑥	外国語訳 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑦	外国語訳問題文 読み上げ	J試験官が問題文を読み上げる	日本語	30秒
	⑧	外国語訳解答	受験者が問題文の英訳を口頭で解答	英語	1分
実務質疑	⑨	実務質疑 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑩	実務質疑準備	受験者が問題用紙を黙読して質疑の準備	無言	30秒
	⑪	実務質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
	⑫	終了宣言、挨拶、退室	J試験官は試験終了を告げ、問題漏洩を防ぐため、問題用紙等を回収して受験者を退出させる	日本語	30秒
計					11分

※J試験官＝日本語母語話者試験委員、E試験官＝英語母語話者試験委員

各課題の条件

◆プレゼンテーション&質疑

- ① 受験者は、30秒で3択のお題から1つを選び、かつプレゼンテーションの準備をする
- ② 準備中に、メモを取ることもできる（この旨の明文はガイドラインにないが、実際の現場では認められていた）
- ③ 受験者は、プレゼンテーションの冒頭で、選択したお題がどれであるかを英語で宣言した上で、プレゼンテーションに入る
- ④ プレゼンテーションは、2分程度でまとめる
- ⑤ プレゼンテーション終了後、英語母語話者試験委員と英語による質疑応答を行う

◆外国語訳

- ① 問題文の読み上げは1度のみ
- ② 受験者は、メモを取ることができる
- ③ 訳出は、問題文読み上げ終了後、直ちに開始し、1分以内に終了する

◆実務質疑

- ① 受験者は、30秒で問題文を黙読し、質疑応答の準備をする
- ② 準備時間中、受験者はメモを取ることができる
- ③ 質疑は、英語母語話者試験委員を観光客と見立てての英語によるロールプレー形式により行う

全出題の再現（時間帯 1～6）

受験者を合計 6 つの時間帯のグループに分け、時間帯 1～6 まで、それぞれ 2 組の「三択プレゼンテーション＋外国語訳＋実務質疑」セットが割り当てられた（計 12 セット）。各課題の数は、外国語訳が $2 \times 6 = 12$ 個、プレゼンテーションのトピックは $3 \times 2 \times 6 = 36$ 個あった。実務質疑は、外国語訳の問題数と同一であり、全部で 12 個（6 パターン）である。

平成 30 年度 出題一覧表 2018 年 12 月 9 日 (日) 実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計 36 題)	外国語訳(計 12 題)	実務質疑(計 6 種)
1 10:00-11:00	1	①正倉院 ②集団登下校 ③働き方改革	平等院鳳凰堂	生憎お目当てが 工事中
	2	①鎌倉 ②無礼講 ③渋谷スクランブル交差点	鹿苑寺金閣	生憎お目当てが 工事中
2 11:00-12:00	1	①根回し ②除夜の鐘 ③太陽光発電	無形文化遺産 和食	近くにはない店
	2	①日光東照宮 ②割り勘 ③灯籠流し	和食の 伝統と歴史	近くにはない店
3 13:00-14:00	1	①リボ払い ②流鏝馬 ③猫カフェ	居酒屋	近くにはない店
	2	①盆踊り ②路上喫煙 ③元号	ラーメン	ハラル食
4 14:00-15:00	1	①琵琶湖 ②鹿威し ③スタジオジブリ	公衆浴場と刺青	公衆浴場での 刺青問題
	2	①終活 ②打ち水 ③食品サンプル	旅館	急な食事変更
5 15:30-16:30	1	①鳥居 ②お花見 ③水引	火山と温泉	半日ツアーで まわりきれない
	2	①神対応 ②三が日(正月) ③グリーン車	奈良	半日ツアーで まわりきれない
6 16:30-17:30	1	①杉玉 ②賽銭箱 ③もんじゃ焼き	浅草	半日ツアーで まわりきれない
	2	①リニアモーターカー ②彼岸 ③知床半島	京都の世界遺産	半日ツアーで まわりきれない

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

時間帯 1（面接時間 10:00-11:00）

問題セット 1（1-1 外国語訳が「平等院鳳凰堂」の組）

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明（プレゼンテーション）を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

正倉院
集団登下校
働き方改革

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

宇治平等院鳳凰堂は、古都京都の文化財の 1 つとして世界文化遺産に登録されています。鳳凰堂は、池の中にある島の上に建てられています。建物の中には阿弥陀如来坐像があり、それは 52 体の雲中供養菩薩像で囲まれています。鳳凰堂の眺めは幻想的で、素晴らしい極楽浄土を表しています。（132 字）

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行者と見立てて、ガイドとして対応してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

お客様は、鳳凰堂を見るのをとても楽しみにしています。しかし、お客様をお連れしたところ、鳳凰堂は修理中であり、ブルーシートで覆われ、見ることはできません。どのように説明しますか。

【条件】

お客様の自由時間は1時間ほどで、その後、ホテルに戻る予定です。しかし、スケジュールは厳密に決められているわけではなく、あなたに任されている、という設定で案内してください。

問題セット2 (1-2 外国語訳が「鹿苑寺金閣」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

鎌倉
無礼講
渋谷スクランブル交差点

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

金閣は禅寺・鹿苑寺の境内に立つ金色の建物で、京都に17ある世界文化遺産の1つに指定されています。回遊式庭園を備えた3階建ての建物で、2階と3階は純金箔で覆われています。創建時の建物は、戦後放火で焼失しましたが、その数年後に再建されました。(119字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行者と見立てて、ガイドとして応対してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

金閣を見るのをとても楽しみにして来たお客様を、あなたはガイドとしてお連れしましたが、金閣は現在工事中でシートに覆われており、見ることはできません。さあ、あなたはどうしますか。

【条件】

お客様はF I T。

金閣寺訪問予定時間は1時間。

終了後ホテルに帰る予定。

時間帯 2 (面接時間 11:00-12:00)

問題セット 1 (2-1 外国語訳が「無形文化遺産和食」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明 (プレゼンテーション) を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

根回し
除夜の鐘
太陽光発電

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳 (通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。一汁三菜を基本として、米を主食に、おかずと汁物で構成されています。自然や季節の行事に関連しており、健康にもよいとされています。(87 字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑 (実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

【シチュエーション】

お客様が、日本料理店で和食を食べたいと言っていますが、近くには日本料理店がありません。あなたは、ガイドとしてどのように対応しますか。

【条件】

近くに中華料理店やファミリーレストランはありますが、日本料理店を遠くまで探しに行く時間はありません。また、旅程を変更することはできません。

ページ中略

出題傾向の分析

全体

試験形式について

まず、今年度の試験について最大の特徴は、先述の通り、通訳案内士法の改正、及びそれに伴うガイドラインの変更により、新課題「全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」（略称「実務質疑」）が追加された点である。

新課題が追加されること自体は、新ガイドライン（平成30年3月30日）に記載され、告知がなされていた。しかし、その内容は未だ抽象的であった。そして、二次口述試験まで1月足らずとなった11月の一次選考通過者発表に伴ってリリースされた「口述試験の予定内容について」という文書で初めて具体的なサンプル問題が示された。

このサンプル問題は、当該「実務質疑」課題に先行して行われる「外国語訳」の問題文が茶道の説明であったのに関連し、「茶道体験の場で緊張している外国人観光客にガイドとしてどのように対応するか」といったもので、この問題によりガイドラインの文言「関する」の意味が明らかになった（P.40にて詳述）。

しかし、ここでは、本番の試験で行われた「これから渡す紙に書いた内容を黙読した上で、試験委員とロールプレーをせよ」のように「紙を黙読させる」という形式についての告知がなく、本番で受験者を大いに戸惑わせた。ガイドライン文中の「日本語で…問います。…外国語で受け答えして下さい」の部分は、口頭で「問いは日本語、答えは英語」という変則的会話をするかのような印象を与えており（実際には問いも答えも共に英語で行われる通常の会話であり、結局「日本語で問います」とは、「受験者に最初に黙読させる問題文は日本語で書かれています」の意味になった）、予備知識なく本番に臨んだ受験者にとっては不意打ちとなった。

もう1つの変更は、従前からの課題（通訳とプレゼンテーション）の出題順序が前年度までは、①通訳⇒②プレゼンテーション&質疑、であったのに対し、今回は、①プレゼンテーション&質疑⇒②通訳（外国語訳）、と反対になり、そして最後に⇒③実務質疑、となった点である。この旨は、上述の「口述試験の予定内容について」で告知された。この順序変更は、新課題「実務質疑」が、「外国語訳」（通訳）に「関する」とされているこ

とが一原因（「実務質疑」は「外国語訳」に「関する」ので、その直後に連続して行いたい、という動機があること）だと思われる。

出題分野について

分野的には、後述の課題別分析にて詳細するが、(1)プレゼンテーションにおいて「非観光アトラクション・解説型」の出題が急増したこと、(2)過去問と同種の分野から課題の枠を超えて出題があったこと（例としては、平成 29 年度の通訳課題で「日光東照宮」が出され、平成 30 年度のプレゼンテーションにて「日光東照宮」が出された）、(3)ガイド試験の伝統的出題分野たる「明治維新」「人物」がここ数年影を潜めている傾向の継続、等が今年度の特徴として挙げられる。

プレゼンテーション問題

総論

先述のように、出題形式や問題数については、平成 28 年度以来の「6 つの時間帯に問題セットが 2 つずつ」が維持された。プレゼンテーションのトピックは、1 セットに 3 つずつなので、今年度のお題の数は全部で $6 \times 2 \times 3 = 36$ 個である。

分野別には、先述のように「非観光アトラクション・解説型」の出題が増えた（詳細後述）。この「非観光アトラクション・解説型」というカテゴリーは筆者が勝手に創設したものであるが、要するに具体的な観光に関する事物に直結しておらず、抽象論になることが多いもの、という意味である。過去の出題を見ると、前年度の平成 29 年度に「待機児童問題」が、平成 28 年度に「日本の家族」、平成 27 年度に「お受験」、などが出された例がある。今年度の同分野からの出題増加は、あるいは新たな傾向で、今後この分野の出題が増えることも考えられる。

なお、筆者は、本年度のプレゼンテーションの出題傾向に関する解説講義を次の YouTube 動画において行っているので、併せて視聴されることをお勧めする。

ページ中略

第2章

解答・解説

時間帯 1 & 2 & 3



本章では、本試験の時間帯 1～3 における出題につき、解答例を示した上で解説を加える。

課題は、出題された順に、①プレゼンテーション問題(プレゼン&質疑)、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)、の 3 つであり、この順番で検討する。

なお、時間帯 4～6 における出題分の解答例と解説については、下巻に掲載予定である。

時間帯 1 (面接時間 10:00-11:00)

問題セット 1 (1-1 外国語訳が「平等院鳳凰堂」の組)

プレゼンテーション問題

テーマ

- ① 正倉院
- ② 集団登下校
- ③ 働き方改革

※各プレゼン例の朗読音声は、別売書籍『モデル・プレゼンテーション集 過去問編IX』の添付 CD に収録

解答・解説

① 正倉院

解答の指針

本年度の特徴である「非観光アトラクション・解説型」が3題のうち2題を占める組み合わせの中、本題のみがオーソドックスな観光アトラクションである。説明の仕方では気を付けるべき点は、(1)「正倉院」は、東大寺の宝物庫であるので、前提として「東大寺」を軽く説明する必要がある(二重の日本事象)、(2)「正倉院」の見どころ・特徴としては、建物自体と収蔵されていた宝物の2つであることに気を配る、という点であろう。なお、関連過去問に「日本における最大の木造建築」(H26)がある。無論、これは東大寺大仏殿のことなので、本題と同じ構造(「東大寺の～」という形で「二重の日本事象」)であるといえる。

プレゼンテーション例

I would like to talk about the Shosoin.

The Shosoin is the treasure house of World Heritage site Todai-ji, the temple in Nara known for its Great Image of Buddha.

The Shosoin was built in the mid-8th century for treasures dedicated by Empress Komyo to express her love for her lost husband, Emperor Shomu, founder of Todai-ji. It is *azekura-zukuri* log-cabin style, with its walls of triangular wooden beams and raised floors. Items were stored inside in strong chests. Long under the “Imperial Seal,” only

those with special permission from the Emperor are allowed access.

These contributed to the excellent preservation of objects that represent Silk Road multiculturalism in Nara-Period Japan. Among these is the five-stringed *biwa* lute made of rosewood with mother-of-pearl inlay, which depicts a Persian minstrel on a camel. Originating in India, the *biwa* is the world's only existing item of its kind.

Being under the strict control of the Imperial Household Agency, the Shosoin can be viewed only from the outside. The treasures are still under Imperial Seal in separate modern warehouses, and a selection of them are shown to the public at the special annual exhibition in fall. I hope you will visit. Thank you. (200 words)

英語表現

- treasure house 宝物庫
- World Heritage site 世界遺産
- Great Image of Buddha 大仏
- dedicate [dédəkèit] 奉獻する
- Empress Komyo 光明皇太后
- Emperor Shomu 聖武天皇
- triangular [traíəŋgjələ] 三角形の
- beam [bí:m] 梁
- raised floor 高床
- chest [tʃést] 辛櫃 (からびつ)、収納箱
- Imperial Seal 勅封
- special permission from the Emperor [pə'míʃən] 勅許
- excellent preservation [éksələnt prézə'veíʃən] 良好な保存状態
- multiculturalism [mʌltaíkʌltʃərəlɪzəm] 文化の多様性、多文化主義、
文化的多元主義
- lute [lú:t] リュート
- rosewood [róuzwùd] 紫檀
- mother-of-pearl inlay [ínlèi] 螺鈿

- Persian [pəˈɜːʃən] ペルシャの、イランの
- minstrel [ˈmɪnstɹəl] 吟遊詩人
- camel [kæmə] ラクダ
- the Imperial Household Agency 宮内庁
- warehouse [ˈweəhɑːs] 倉庫
- annual [ˈænjuəl] 毎年恒例の
- exhibition [ˌeksəˈbɪʃən] 展示会、展覧会

プレゼンテーション例の和訳

私は、正倉院についてお話しいたします。

正倉院とは、世界遺産たる東大寺、すなわち、奈良の大仏で知られるお寺の宝物庫です。

正倉院は、8世紀中ごろ、光明皇太后が、先に亡くなった自分の夫で、東大寺の創建者たる聖武天皇への愛情を表すために奉獻した宝物を収蔵すべく建立されました。正倉院は、校倉造であり、壁は三角形の梁材から構成され、高床式が採用されています。献納品は、建物内の頑丈な辛櫃に収められていました。これらは長く「勅封」の下にあり、勅許を得た者でなければ開くことが許されません。

こうした条件のおかげで、正倉院には奈良時代の日本で見られた多彩なシルクロード文化を代表する品々が、大変良好な保存状態で今日まで伝わっています。たとえば、ここにある螺鈿紫檀五弦琵琶には、ラクダに乗ったペルシャの吟遊詩人が描かれています。これはもともとインドに起源をもつもので、同種では、世界で唯一の現物です。

正倉院は、宮内庁により厳重な管理がなされており、外部から見ることだけが許されています。正倉院の宝物は、現在、別の近代的倉庫に収められていますが、なお勅封が施されており、毎秋、恒例でその一部が選ばれ、特別な展示会で一般公開されます。ぜひ、訪れてみてください。どうもご清聴ありがとうございました。

質疑応答で出された質問

- ・正倉院に行ったら、まず何を見ればよいか。
- ・大仏を見るにはどれくらいの時間がかかるか。

- ・奈良の大仏は、どのような素材でできているか。
- ・奈良の大仏についてももう少し詳しく説明せよ。

関連過去問

「日本における最大の木造建築」(H26 時間帯 4 プレゼン) > 『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』『H26 過去問詳解』参照

② 集団登下校

解答の指針

本題は「非観光アトラクション・解説型」であるのみならず、一般の人にはなじみの薄い話題である。知識が十分にあればこれを選ぶのもよいが、通常は避けるべきであろう。

やむを得ずに選ぶ(知識不十分ながら選ばざるを得ない)場合は、最低限の定義を述べた上で、自分の個人的経験(自分も子供の時分に集団登下校をしていた、あるいは自分の子供が集団登下校をしている、等)へ話を持ち込むのも一法だろう。

本筋としては、本題は「解説」をその主旨として、集団登下校の仕組み、制度趣旨、メリット、デメリット、等を述べて、最後は「今回の私のお話で、集団登下校についてのご理解を深めていただければ嬉しく思います」とまとめることになる。

プレゼンテーション例

I would like to talk about *shudan-togeko*.

Shudan-togeko is a practice in which Japanese children walk to and from school in groups organized by communities.

The idea was introduced to the West in the 1990s and has developed into “the walking school bus,” in which children are encouraged to walk to school instead of taking a bus. While the walking school bus is mainly intended to engage children in physical activity, *shudan-togeko* is aimed at organizing children into groups for protection from traffic accidents and crime, with walking to school in Japan being the norm and taken for granted.

In a typical *shudan-togeko*, children gather at a designated place and time. The highest grader is expected to act as the leader. The members walk along a set route, which is usually approved by the school or police.

While *shudan-togeko* is good for crime prevention, it is not always good when it comes to safety from traffic accidents because it can be dangerous to gather in groups on narrow but busy streets. With situations differing by region, whether and how to organize *shudan-togeko* is left up to local municipalities, schools and communities. I hope this helps you appreciate *shudan-togeko*. Thank you. (200 words)

英語表現

- the West 欧米、西洋
- the walking school bus ウォーキング・スクールバス (欧米の集団登下校)
- physical [ˈfɪzəkəl] 肉体的な、身体的な
- norm 普通、定番、常識
- take ~ for granted ~を当然のものとする
- grader [ˈɡreɪdər] 生徒
- route [ru:t; raʊt] 道順、道筋、ルート
- crime prevention [ˈkrɪmɪˈnəʃən] 防犯
- safety from traffic accidents 交通安全
- local municipality [ˌmjuːnɪsəˈpæləti] 地方公共団体

プレゼンテーション例の和訳

私は、集団登下校についてお話しいたします。

集団登下校とは、日本において、子供たちが通学の際に、地域コミュニティにより組織されたグループごとにまとまって、徒歩で行き帰りをすることです。

このアイディアは、1990年代に欧米へと導入され、いわゆる「ウォーキング・スクールバス」、すなわち、子供たちが通学の際にバスに乗らず、

ページ中略

通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）

問題「ラーメン」

ラーメンは、もともと中国から伝わった麺料理ですが、日本で独自の発展を遂げ、現在では海外でも人気があります。麺、具材、スープは地方によって異なり、ご当地ラーメンといわれるものもあります。その手ごろな値段から、ラーメンは観光客を惹き付けています。(121字)

※上記問題文の読み上げ音声は、別売の通訳演習用 DVD 教材「H30 逐次通訳過去問勝負！(上)」に収録

解答例

Ramen is a noodle dish originating in China. Having developed in a unique way in Japan, it is now quite popular in many overseas countries as well. With the noodles, toppings and soup differing by region, there are almost endless local varieties. Generally available at a reasonable price, ramen is a major attraction for visitors to Japan. (57 words)

英語表現

- 麺料理 noodle dish
- 具材 topping
- 異なる differ [dɪfə]

関連知識と通訳のコツ

本問は、問題文の字数 121 字と、本年度出題分の中では中ぐらいの長さである。内容は平易なので、しっかりと原情報をリテンションし、基本的な語彙・表現を押さえておけば、対応できる。

全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

問題「ハラル食」

【シチュエーション】

イスラム教徒のお客様が、旅行の途中でラーメンを食べたいと言っています。

【条件】

あなたが調べたところ、近くにハラル対応の店がないことがわかりました。どのようにお客様に対応しますか。

解答例

Ramen is quite popular. I tried to find a halal ramen restaurant around here, unfortunately, however, it seems that there are none nearby. If you can wait until later, I would be glad to keep looking for one. Another option may be to look for instant halal ramen at a nearby convenience store. If we are lucky, we may find some. (61 words)

解答例の和訳

ラーメンがお好きな方は大変たくさんいらっしゃいます。この近辺でハラル対応のラーメン店がないか探してみたのですが、残念ながらこの近くには見当たらないようです。後刻まで待っていただけると、ということでしたら喜んで探しておきます。もう1つ別の手として、この近辺のコンビニでインスタントのハラルラーメンを探してみる、というのも考えられます。運が良ければ見つかるかもしれません。

解説

相手の要望に理解を示しながら、自分はベストを尽くしたものの、すぐに要望をかなえることが難しい旨を丁寧かつ簡潔に伝える。次に代替案の提示だが、本問には「近くに店がない」というだけで代替可能性のある店については限定がないので、通常どこにでもあると思われるコンビニでハラルラーメンを探す、という案を考えた。なお、近年はイスラム教徒のラ

一メンファンが増えたせいも、コンビニの中には、実際にハラール対応のインスタントラーメンを扱う例もあるようである。



岩のドーム (Dome of the Rock)

東エルサレムにあるイスラム教の聖地。7世紀末に完成。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教にとって重要な関わりを持つ聖なる岩 (Foundation Stone) を祀る。

※ハラール (ハラール) halal [hələ:l]

イスラム法で「許されている」という意味のアラビア語。反対に「禁じられている」という意味の言葉が「ハラーム (ハラム) (haram [hərə:m])」で、これは語源的に「ハーレム」(harem [hæ:rəm]) と同じ。ハラームをノンハラール (ノンハラール) と言う人もいる。

ハラールとは、端的にはイスラム法上で食べることが許されている食材や料理を指す。イスラム法の下では豚肉を食べることは禁じられているが、その他の食品でも加工や調理に関して一定の作法が要求される。この作法が遵守された食品がハラールとされる。

第3章

「予定内容について」 掲載のサンプル問題

文書「予定内容について」の全文面

解答例

コメント



平成 30 年度は、新試験の初年度であり、特に二次口述の出題形式がどのようなものになるかが注目された。

やがて 11 月の一次選考通過者発表と同時に、「平成 30 年度全国通訳案内士試験 口述試験の予定内容について」と題する文書が、試験実施団体より発表された。ここには、新形式試験において問われる課題のサンプルが掲載されており、初めてその出題形式が一定程度具体的に示された。

サンプル問題は一種の過去問として、試験委員の関心事を知る手掛かりとなる重要な情報である。よって、本章ではこのサンプル問題を掲載し、解答例を示し、コメントすることにする。

文書「予定内容について」の全文面

平成30年度全国通訳案内士試験 口述試験の予定内容について

1. 試験時間は全体を通じて10分程度です。
2. 口述試験の進め方は以下の通りです。
 - ① 受験者は、その場で配付される日本語で書かれた3つのテーマから1つを選択し、そのテーマについて受験外国語で2分程度のプレゼンテーションを行って下さい。

(例題) 1. 絵馬
2. 高野山
3. インスタ映え
 - ② ①のプレゼンテーションの内容について、受験外国語で質問をしますので、受験外国語で回答して下さい。
 - ③ 次に、試験委員が日本語で読み上げる内容について、1分程度で受験外国語に訳して下さい。配付した用紙と筆記用具を用いてメモを取っても構いません。

(例題) 茶道は1杯のお茶で客をもてなす儀式である。茶道では、亭主は決められた作法に従い、ていねいにお茶を用意する。客はその気持ちに応じて、感謝の意を表しながらお茶をいただく。茶道で使われるお茶は抹茶で、和菓子はお茶を飲む前に食べる。
 - ④ ③の内容に関連して、日本語で通訳案内士の現場で想定される状況に全国通訳案内士としてどのように対応するかを問います。試験委員をお客様と想定し、受験外国語で受け答えして下さい。

(例題) お客様が茶室に入る前に、茶道には作法や決まり事があると聞いて緊張しています。あなたはお客様に対し、どのように声をかけますか。
3. 2①及び2③の内容は、全国通訳案内士試験ガイドラインにある、日本の地理、歴史並びに産業・経済・政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材とします。なお、上記の出題例は、あくまでも参考例です。
4. 試験委員は2名（原則として、受験外国語母語話者1名、日本語母語話者1名）です。

以上

問題と解答例

◆プレゼンテーション問題 (①②)

プレゼンテーションについては、過去に実際に出題されたものが3題、そのまま掲載された。これらのトピックの解答例については以下の書籍を参照されたい。

1. 絵馬

- (1) 『H25 通訳案内士試験二次口述過去問詳解』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- (2) 『H29 通訳案内士試験二次口述過去問詳解』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅶ』

※(1)と(2)とでは、別バージョンの解答例が掲載されている。

2. 高野山

- (1) 『H26 通訳案内士試験二次口述過去問詳解』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- (2) 『H28 通訳案内士試験二次口述過去問詳解 (下)』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅵ』

※(1)と(2)とでは、別バージョンの解答例が掲載されている。

3. インスタ映え

- (1) 『H29 通訳案内士試験二次口述過去問詳解 (上)』または『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅶ』

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳 (通訳) (③)

—試験官が読み上げる日本語の内容—

茶道は1杯のお茶で客をもてなす儀式である。茶道では、亭主は決められた作法に従い、ていねいにお茶を用意する。客はその気持ちに応じて感謝の意を表しながらお茶をいただく。茶道で使われるお茶は抹茶で、和菓子はお茶を飲む前に食べる。(111字)

ページ中略

第7章

試験改正の経緯

平成 25（2013）年度改正

「平成 25 年から実施する
口述試験について」による告知

平成 30（2018）年度改正

「口述試験の予定内容について」
による告知

平成 31（2019）年度ガイドライン

冒頭の「まえがき」で述べた如く、全国通訳案内士試験は、毎年「ガイドライン」が発表され、その年度の試験実施の方針が示される。

ガイドラインその他、試験実施団体が公式に発表する情報は、試験情報としては最も信頼すべき情報である。受験者が、受験業界内にあふれる様々な情報に溺れることなく、試験の実体を正しく把握するためには、常にガイドラインに立ち帰ることが必要である。そこで本章では、近年のガイドライン等、公式発表に示された試験内容の変更部分を明らかにすることにより、本試験で要求される事柄が何であるかの把握を試みる。

平成 25（2013）年度改正

平成 25 年 4 月 1 日に当該年度のガイドラインが発表され、改正の内容が示された。本書冒頭の「まえがき」で述べた通り、従前は「ランダムな質疑応答」であったところ、この改正により、「通訳問題」と「プレゼンテーション問題」という 2 つの明確な課題が設定され、今日の形式の基礎が作られた。

平成 25 年度改正時のガイドライン規定の新旧比較

※注目すべき点をゴシック体にして表示してある

		旧	新
試験内容	基本コンセプト	試験は、日本の地理、歴史ならびに産業、経済、政治および文化についての主要な事柄のうち 外国人観光客の関心の強いもの を題材として、受験者に 通訳案内の業務を疑似的に行わせること により実施するものとする。	試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、 外国人観光客の関心の強いもの を題材として、受験者に 通訳案内の業務を疑似的に行わせること により実施するものとする。
	問題分野	各問題群は、たとえば日本人の生活や習慣の分野から 1 問、日本の伝統文化の分野から 1 問、現代日本社会の分野から 1 問というように出題分野を統一するとともに、 時間帯 によって大きな差が出ないように 質問内容のレベルを合わせる 。	削除
合否判定		あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な合格基準点を設定しておくものとする。その上ですべての評価項目について当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。	あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な合格基準点を設定しておくものとする。合否判定は、原則として 6割を合格基準点 とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。
評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り能力 ・表現力 ・発音及び文法の正確性 ・回答能力（臨機応変な反応力を含む） ・上記に掲げるもののほか、旅行者に対する配慮の適切性、通訳案内業務に対する十分な意欲等通訳案内士として必要な適性 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等） ・文法及び語彙 ・発音及び発声

◆平成 25 年度改正により、二次口述はどう変わったか？

- ①イニシアチブが「試験官」から「受験者」へ移った。
- ②「トーク」から「タスク」へと変わった（通訳と即興プレゼン+Q&A）。
- ③「情緒的主観的な就職試験」から「客観的能力判定を志向する資格試験」へと変わった。

◆現在に至るまで変わらないのは？

「外国人観光客の関心の強いもの」「受験者に通訳案内の業務を疑似的に
行わせる」⇒試験の形式は変わったが、基本コンセプトは不変。

「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知

表題のような文書が試験実施団体より発表された。まず 2013 年 2 月に発表され、続いて 5 月に改訂版が出された。ここにおいては、通訳問題とプレゼンテーション問題のサンプルが示された。具体的内容については、通訳問題につき、PEP 英語学校の DVD 教材「Sample+3」、プレゼンテーション問題につき、『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』に掲載されているので、それぞれ参照されたい。

平成 30（2018）年度改正

平成 30 年 3 月 30 日に、当該年度のガイドラインが発表された。通訳案内士法の改正に伴い、全国通訳案内士試験に実務科目が追加されることが示された。

平成 30 年度改正時の新旧ガイドラインにおける二次口述に関する部分の比較表

※変更・追加された部分に波線を施してある

改正前	改正後
<p><u>VI.</u> 口述試験について (1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史及び一般常識に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するもの 	<p><u>VII.</u> 口述試験について (1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史、一般常識及び<u>通訳案内の実務</u>に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力につ

ページ中略

〔著者紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検1級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』などがある。趣味はクラシックギター、将棋、バードウォッチング、旅行など。



著者近影

平成 30 年度 全国通訳案内士試験二次口述過去問詳解(上)

2019 年 6 月 初版発行

著 者 杉森 元

発行者 PEP 英語学校

〒167-0023

東京都杉並区上井草 2-30-15 第二ケヤキビル 102 号

Tel: 03-5938-7777

HP: <https://www.pep-eigo.com>

Mail: info@pep-eigo.com

※本書を読まれて、ご感想等ございましたら、
ぜひ上記までお寄せください。

本書の無断複製を厳禁します。

乱丁・落丁はお取替えます。

ISBN978-4-908485-19-0
C1082 ¥5370E



平成 30 年度 課題一覧 2018 年 12 月 9 日 (日) 試験実施

掲載	面接時間帯	組	プレゼンテーション (計 36 題)	外国語訳 (計 12 題)	実務質疑 (計 6 種)
上 巻	1 10:00-11:00	1	①正倉院 ②集団登下校 ③働き方改革	平等院鳳凰堂	生憎お目当てが 工事中
		2	①鎌倉 ②無礼講 ③渋谷スクランブル交差点	鹿苑寺金閣	生憎お目当てが 工事中
	2 11:00-12:00	1	①根回し ②除夜の鐘 ③太陽光発電	無形文化遺産 和食	近くにない店
		2	①日光東照宮 ②割り勘 ③灯籠流し	和食の 伝統と歴史	近くにない店
	3 13:00-14:00	1	①リボ払い ②流鏝馬 ③猫カフェ	居酒屋	近くにない店
		2	①盆踊り ②路上喫煙 ③元号	ラーメン	ハラル食
下 巻	4 14:00-15:00	1	①琵琶湖 ②鹿威し ③スタジオジブリ	公衆浴場と刺青	公衆浴場での 刺青問題
		2	①終活 ②打ち水 ③食品サンプル	旅館	急な食事変更
	5 15:30-16:30	1	①鳥居 ②お花見 ③水引	火山と温泉	公衆浴場での 刺青問題
		2	①神対応 ②三が日 (正月) ③グリーン車	奈良	半日ツアーで まわりきれない
	6 16:30-17:30	1	①杉玉 ②賽銭箱 ③もんじゃ焼き	浅草	半日ツアーで まわりきれない
		2	①リニアモーターカー ②彼岸 ③知床半島	京都の世界遺産	半日ツアーで まわりきれない

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務トラブル質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、

これを便宜的に各問題の名前としたものである。